



チア・コンベンションにて（東京会場）

LIT 初の志望動機に、感動！

今年のLITも人気ですが、24名という人数制限があります。新たな選考基準として、以下の5ポイントを設けました。対象年齢は、例年どおり14～18歳です（詳細は11ページへ）。



受け継がれる、LIT を通しての訓練

- ①先着
- ②チア・キャンプ参加経験者
- ③やる気（全員、志望動機書を提出）
- ④親御さん等の今年のキャンプ参加予定
- ⑤LITへの趣旨、ルールに賛同すること。
などを考慮です。

志望動機書は上記5ポイントの中でも点数の配分が高いです。どのような心で神様と人々に仕えようとして参加されるのか、真摯で率直な心意気を知らせてくだされば感謝です。とても楽しみにしています。今から動機書の内容等、伝えたいことを考えていただければ感謝です。

こうした手紙を先週、HPにアップしました。「志望動機の作文」が必須となったことで、今年は例年よりは、申し込みにかかるかなと思いました。フタを開けてみれば、何と今日までの5日間で既に15名の志望動機の作文が届いています。感動する言葉も多いです。

「去年の2回のボランティアで、心を一つに働いたことがとても楽しく、良い訓練となりました。ぜひLITに入れてください」「最近、親が決めた範囲内で髪の毛の色やメイクをアートとして楽しんでいます。LITのルールでは黒髪、ノーメ

イクですので、この夏はそのファッションを楽しみたいと思います」「我が家のモットーは、『すぐに、喜んで従う』ですが、最近その大切さが分かっているのにできません。心から敬う大切さを実感し、一から鍛え直していただきたく覚悟をもって応募します。仕える人になれるよう全力で挑戦したいです」「オーストラリアに行く予定でしたが、LITのために1カ月出発をずらしました。ぜひ入れてください」「年齢的に今年がLITができるラストイヤーです。今まで、とても楽しい企画ありがとうございました。自分に大きな影響を与え、いろいろな励ましを受けました。6日間、全力で今までの恩返しをしたいと思っています。今年のサマーキャンプへの思い入れは強いです」「主に對してするように、苦手な方と出会っても敬意を払い、積極的にいこうと思います。仕える喜びを味わいたいです」「コンベンションでLITをやり、子どもたちがなついてくれてうれしかったです。神と人にとに仕えたいです」「私にとってチアは靈的ふるさと、安心できる場所、靈的に解放される場所です。スタッフやLITへの清き憧れがあります。神と人に仕える心を頂きたいです」「初めてチアに参加した時は、まだクリスチャンではありませんでした。チアの皆さんは、神様の福音、

ホームスクールについて教えてください、友達や家族のように接して下さいました。自分の価値観を変えて下さったチアの皆さんに、恩返しとしてお役に立てればと思いました」「僕は、コンベンションのLITで、内側の聖さよりも、周りからどう思われるかなど、外側ばかり気にしていました。形ばかりで心から仕えることを忘れていました。LITは自信ありませんでしたが、祈るうちに神様から『行ってもいいよ』と言われた気がしました。前回の失敗を克服したいです」といった声が続々、届いています。

世代交代

18年あまりの時を経て、人気のLIT(リーダーズ・イン・トレーニング/訓練中の次世代のリーダーたち)は、「世代交代が進んで感動した！そしてみんなよくやってる」とのうれしい声をいただきました。

現在の主力メンバーは赤ちゃんや低年齢の頃からチルミニで育ち、LITに助けられ、LITに憧れてきた世代です。LITの人気の一つは、その厳しい訓練と充実感があります。

一般の皆さんには、本邦初公開ですが、LITの源泉ともなってきた「LIT同意書」を紹介させていただこうと思います。チアの立ち位置もご理解いただけるかなとも思います。

聖書に立つ教育を目指すチア・につぼんですが、特にLIT(14~18歳)世代に向けて、「自由奔放」ではなく、「規律ある自由」「形より本質を」として、いくつか規律を定め、その点に合意した上でLITメンバーになれるという姿勢で進んできました。多様性・個の尊厳を尊重し、パリサイ人化を否定しながらも、世に流されず、聖書に立って子どもたちを育ていこうというのもチアの立ち位置です。

こうした規律ある自由は、この世の流れとは違う点も含まれていると思います。でもLIT参加の子どもたちも、親御さんたちも、喜んで同意し19年目に入っていけることをとてもうれしく、誇りに思います。もちろん、聖書ではないので、表現



チア・コンベンションにて(東京会場)

等は微調整してきましたし、これからも変わるところがあると思います。でも聖書に立って育ていこうとの姿勢は変わりません。皆さんの率直なご意見、ご感想、また、お祈りをぜひよろしくお願い致します。

こうした思いの子どもたちでも、不十分なところはあるかとも思います。しかし、このように神と参加者に仕えようとするホームスクーラーたちも待っている特別なサマーキャンプです。上記の通り、最近、体調等の関係で来られなくなっているピリポさんら初代伝道者の皆さんも心待ちにしてください、孫を見せにいこうような気持ちです。参加くださる皆さん全員への大なる励ましと祝福の時となるようにと思っています。ご参加とお祈りのほど、どうぞよろしくお願い致します。